



実績報告!

キラリと光る地域活性化事業

これまでの交付額は2100万円超!

村民の思いやアイデアを次世代に誇れる豊かなむらづくりに活かそうと始まった「キラリと光る地域活性化事業」。今年で5年目を迎えました。これまで、地区コミュニティや任意団体、企業など38団体から44事業について提案がありました。そのうち採択されたのは22事業。これまでの補助金交付額は2100万円超となりました。

平成25年度は一次募集、二次募集あわせて5つの事業を採択。今月は平成25年度に採択された5事業のうち、事業が完了した3つの事業実績について報告します。

～ 平成25年度に採択された5つの事業～

事業名	団体名	交付額
下関地区「米沢街道」及び「道の駅関川」周辺における地域活性化及び下川口河川公園の活性化プロジェクト	米沢街道地域づくり検討会 (米野紀男代表・上関)	69万9千円
関川村“ぶくぶく・わくわく”発酵&発幸プロジェクト	おくやま農園 (奥山政行代表・深沢)	165万円
「えちごせきかわ太鼓龍泉会」の太鼓及びのぼり旗整備と活性化活動の充実	えちごせきかわ太鼓龍泉会 (渡邊俊久代表・沢)	110万円
cross River picnic	cross River picnic (小山龍之介代表・大内洸)	50万4千円
キラリと光る人財の育成	せきかわ勉強会 (鈴木紀夫代表・下関)	44万8千円

*平成25年度の実績報告については次ページ以降に掲載。

「cross River picnic」と「キラリと光る人財の育成」の2事業について、繰越事業となったため今回実績は掲載しません。

下関地区「米沢街道」及び「道の駅関川」周辺における 地域活性化及び下川口河川公園の活性化プロジェクト

◆事業主体 米沢街道地域づくり検討会
(米野紀男代表／上関)

◆交付額 69万9千円



道の駅周辺の花植えて景観整備！

もっともっと米沢街道を活性化できたら…。これが活動のきっかけとなり、道の駅と米沢街道（下関地区）の一体化を目指して活動しています。

そのひとつとして、道の駅周辺の景観を整備。側道110㍍にわたって、マリーゴールドやベゴニアなど4種類の花植えを実施しました。

また、下川口河川公園（トンボ池）の活性化については、花木でいっぱいにして「癒しの村」にしようと計画しています。

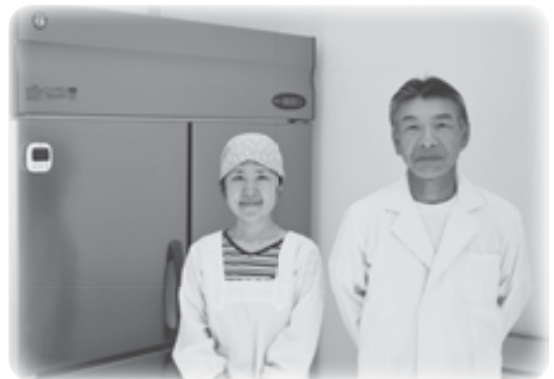
観光情報センターを有効活用したい！

会では、観光情報センターの有効活用についても検討しています。休日、メンバーが観光情報センターに待機して、観光客の対応をしようというもの。「せっかく村へ来てくれたのに観光窓口もなく情報が少なすぎる。足を運んでくれた観光客と直接ふれあいながら、さまざまな情報を発信していけたらー」。顔の見える関係を大切にしながら、歴史ある米沢街道の活性化に取り組んでいます。

関川村 “ぶくぶく・わくわく” 発酵&発幸プロジェクト

◆事業主体 おくやま農園
(奥山政行代表／深沢)

◆交付額 165万円



どぶろくを作って村おこし！

冬期間の仕事を確認するため、どぶろくづくりにチャレンジしたいー。元々、専業農家だった奥山さんは平成24年冬、どぶろく特区の認定を受けてほしいと村に要望。国への申請を経て、翌年6月に国からどぶろく特区の認定を受けました。このプロジェクトが採用され、補助金で麹発酵器、冷凍冷蔵庫を整備。また、製造場は自宅脇にある車庫を改修しました。

どぶろく特区は、農家民宿や農家レストランを営む農業者が対象となっていることから、自宅で農家民宿を経営。ゴールデンウィークには2組が利用するなど順調な滑り出しで、農業体験も利用者から好評です。どぶろくも酒造会社などから指導を受け、5月に初めて仕込みました。出来具合を確認してもらい、今秋の販売を目指しています。

将来は村の特産品に！

「今は不安と期待でいっぱい。でも期待の方が大きい。どぶろくは仕込みごとに味が変わりやすい面があるので、研究を重ねながらよりおいしいどぶろくを皆さんにお届けしたいー」。

販売はこれからですが、村の特産品として認めてもらえるよう、夫婦二人三脚で頑張っています。